

特集

令和8年4月22日  
東京税関

# カーネーションの輸入

- 2025年、日本へのカーネーションの輸入数量、金額が過去最高！
- 東京税関管内への輸入数量、金額が全国分の過半を占め全国トップ！
- コロンビア、中国、エクアドルが主な輸入相手国！

## 【はじめに】

5月の第2日曜日は母の日です。母の日は米国で始まったとされ、現在では母親に日頃の感謝を伝える日として世界中で親しまれています。母の日には、感謝の気持ちを込めてカーネーションを贈る習慣があり、日本でも国産品に加えて海外から輸入されたカーネーションが多く販売されています。

2025年のカーネーションの日本への輸入数量、金額はともに過去最高を記録しました。また、税関別に見ると、東京税関管内への輸入数量、金額はともに全国分の過半を占め、全国で最も多くなりました。

そこで今回の特集では、まもなく迎える母の日を前に、カーネーションの輸入について取り上げます。

## 【カーネーションの国内流通量(令和5年)】

	本数(億本)	割合(%)
国内出荷量	1.8	32.1
輸入量	3.8	67.9
合計	5.6	100.0

※ 農林水産省「花きの現状について(令和7年10月)」をもとに作成。  
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kaki/flower/attach/pdf/index-121.pdf>

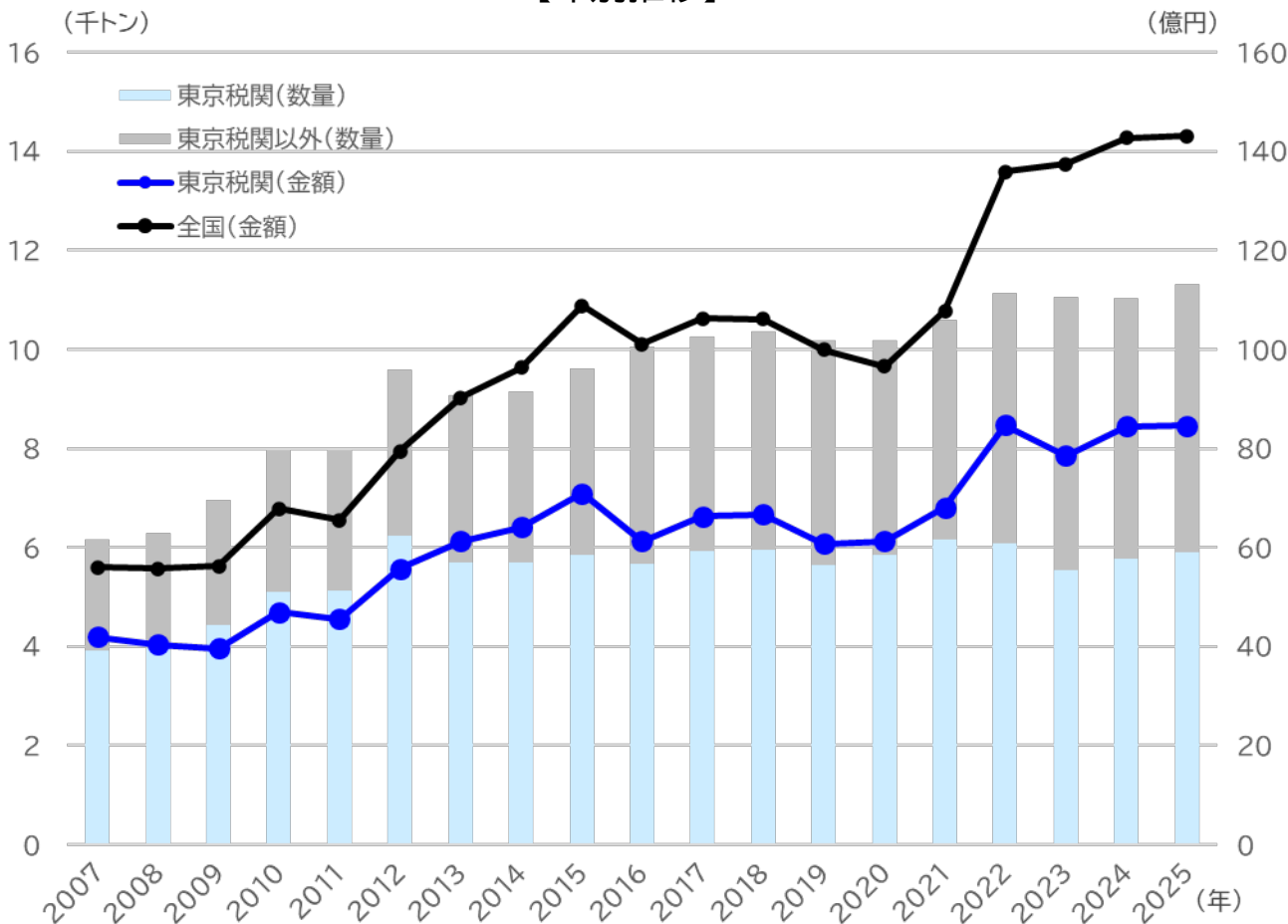
この特集は輸入統計品目番号「0603.12-000」に分類されるカーネーションをまとめたものだワン。



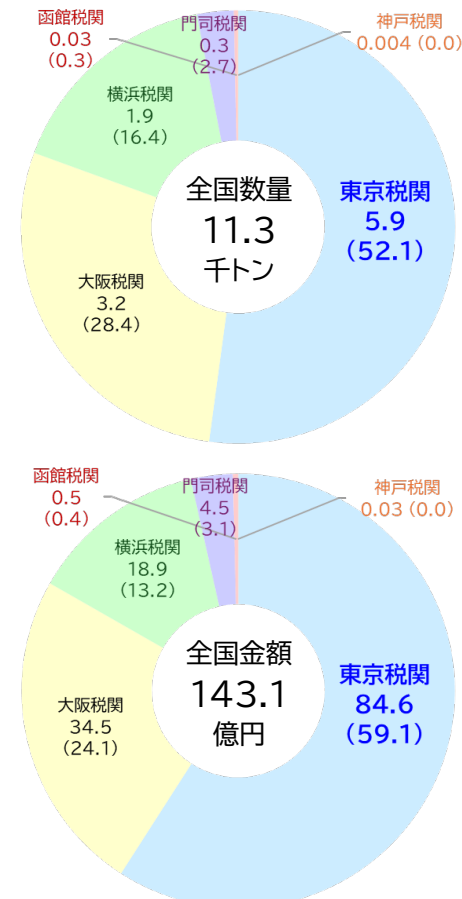
## 【年別輸入動向】

カーネーションの日本への輸入は、2007年以降、数量、金額ともに増加傾向にあり、2025年にはともに過去最高になりました。  
 また、2025年において、東京税関管内への輸入が全国に占める割合は、数量では約5割、金額では約6割でした。

【年別推移】



【税関別実績(2025年)】



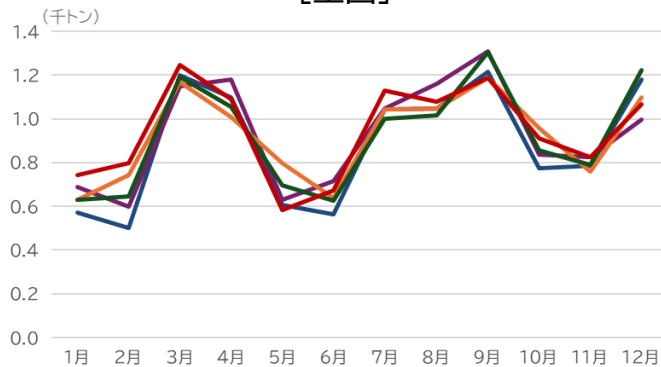
※ カッコ内は全体に占める割合(%)。グラフ未掲載の税関は実績なし。

ここからは、日本切花輸出入協会に対して行った取材結果も含め概要を紹介します。

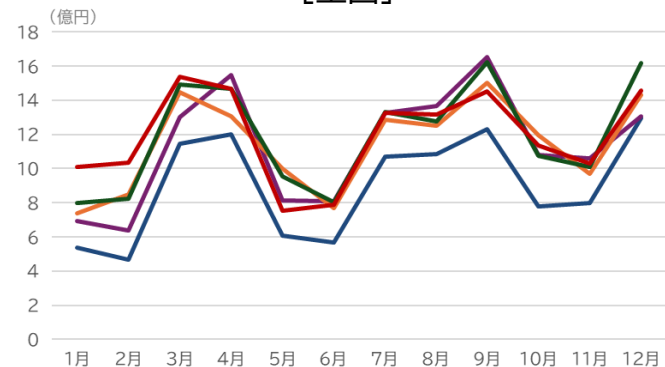
## 【月別輸入動向】

カーネーションの輸入動向を月別に見ると、3月、9月、12月頃に数量、金額ともに増える傾向があります。3月は春のお彼岸、9月は秋のお彼岸、12月は正月用の準備として需要があることから、それらに伴いそれぞれの月の輸入が増える傾向があるとのことです。  
 なお、日本で最もカーネーションが売れる日は母の日とのことです。

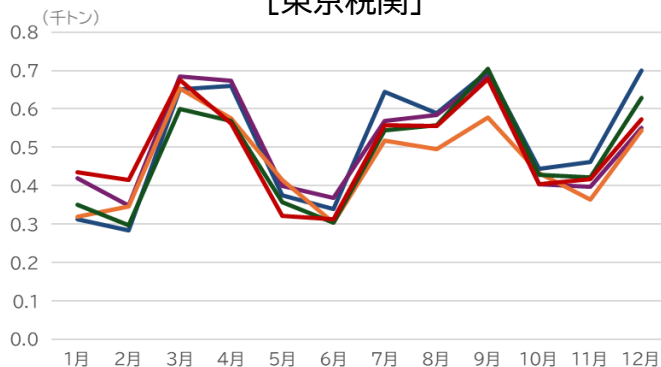
【月別推移(数量)】  
【全国】



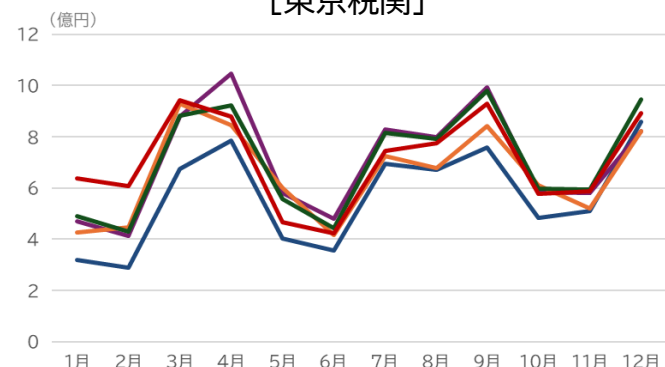
【月別推移(金額)】  
【全国】



【東京税関】



【東京税関】



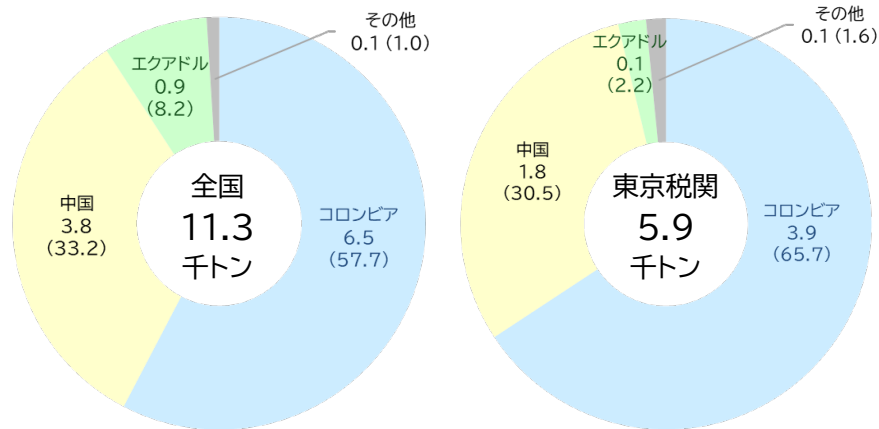
— 2021年 — 2022年 — 2023年 — 2024年 — 2025年

— 2021年 — 2022年 — 2023年 — 2024年 — 2025年

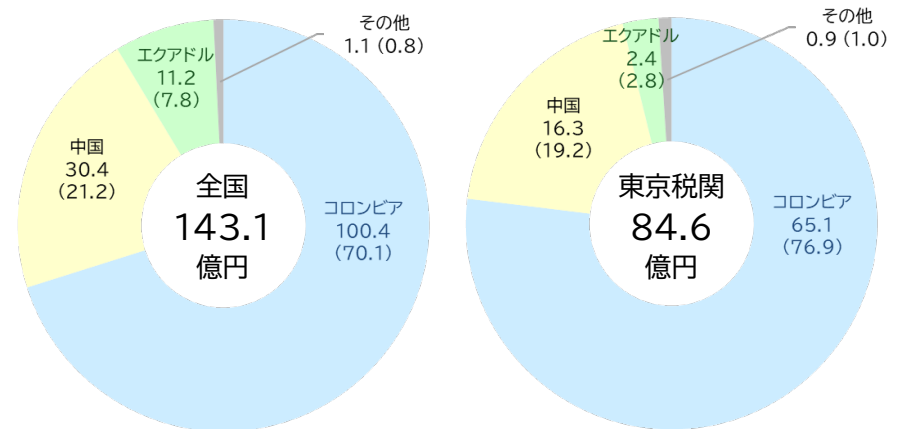
## 【国別輸入動向】

カーネーションは主にコロンビア、中国、エクアドルから輸入されています。これらの国はカーネーションの栽培に適した気候条件を備えていることに加え、生産コストが低いことから、主要な輸入相手国となっているそうです。

### 【数量(2025年)】



### 【金額(2025年)】



※ カッコ内は全体に占める割合(%)。

## 🌸 カーネーションの産地 🌸

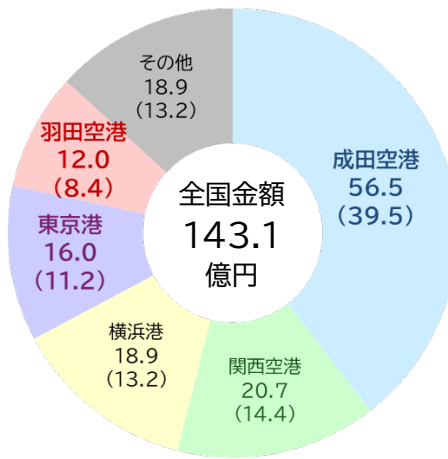
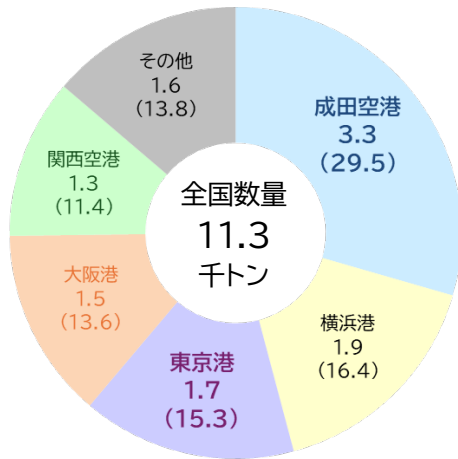
カーネーションは元々、地中海性気候の下で栽培されていた花であり、海外から日本に持ち込まれた花です。カーネーションの栽培には常春の気候が適しており、気候が整っていれば栽培はそれほど難しくないとのことです。主な輸入相手国のコロンビア、エクアドルは赤道直下の国ですが、寒冷な高地で栽培が行われているため、一年を通じて栽培が可能です。また、中国では一年を通じて比較的温暖な昆明で栽培を行っているとのこと。なお、日本国内では長野県、愛知県、千葉県、北海道が主な産地です。長野県と北海道は夏から秋、愛知県、千葉県は冬から春が生産期間です。ただ、冬期の暖房コストの上昇や、温暖化による夏場の酷暑の影響、さらに後継者不在、労働者不足などにより、国産カーネーションの生産が毎年減少しているとのこと。 (同じく贈り物として人気のあるバラについては栽培に技術が必要であることから、「カーネーションは気候で作る、バラは技術で作る」とも言われているようです)。

## 【港別輸入動向】

カーネーションの輸入数量、金額を港別で見た場合、ともに成田空港がトップとなっており、数量では全国の約3割、金額では約4割を占めています。

成田空港に輸入が集中している背景は、切花の一大消費地である首都圏へ供給するためとのことです。

【港別実績(2025年)】



※ カッコ内は全体に占める割合(%)。

カーネーションの産地である長野県は、りんごの産地でもあるワン。りんごはエチレンを多く排出するから、カーネーションとは絶対に一緒に輸送しないようにしているみたいだワン。



### 🌸 店頭に並ぶまで 🌸

カーネーションを剪定してから国内市場で流通するまで国産の場合は4～5日程、コロンビア等から空輸した場合は7～8日程、中国から船で輸入した場合は12～13日程かかるとのことです。

カーネーションは植物の老化を促進させるエチレンに感受性が高く、自らエチレンを排出、吸収することから、鮮度を保ったまま販売するためには、収穫後、短時間で店頭へ運ぶ必要があります。このため、カーネーションは長距離輸送には不向きでしたが、エチレン抑制剤などの鮮度保持技術が発達したことで、長距離輸送を伴う輸入も可能となりました。その結果、店頭では、国産でも海外産でも鮮度に差が出にくくなったとのことです。

## 🌸 母の日の起源 🌸

母の日が如何にして始まったのか。これは、遡ること1907年、アメリカのフィラデルフィアにて、アンナ・ジャービスが亡き母を偲んで白いカーネーションを祭壇に飾ったことが始まりとされています。これ以降、アメリカでは白いカーネーションが母の日のシンボルとなり、1914年、アメリカでは正式に5月の第2日曜日を母の日と制定しました。日本に伝わったのは大正時代で、青山学院大学の3人の女性宣教師によって普及し定着したといわれています。彼女たちの貢献が実を結び1932年、日本で初めて母の日が公式行事として祝われ、今日の母の日のセレモニーに繋がっているのです。母の日は赤いカーネーションのイメージがありますが、実は白いカーネーションからスタートしたのです。

【出典】一般社団法人日本花き生産協会「カーネーションの歴史編」<https://hana-marugoto.jp/story/1745/>

## 🌸 花言葉 🌸

カーネーションの花言葉は、花の色ごとに意味があるようです。

赤  
母の愛

ピンク  
感謝

黄色  
友情、美

青  
永遠の幸福

白  
私の愛情は  
生きている

※ 白いカーネーションには「亡くなったお母さんに捧げる」という意味合いがあり、ご存命のお母さんに対して白いカーネーションのみを使った花束やアレンジメントを贈るのはふさわしくないようです。

【出典】日比谷花壇「カーネーションの花言葉とは？色で意味が違う？母の日にカーネーションを贈る理由も」から抜粋  
[https://www.hibiyakadan.com/item/LIFESTYLE\\_M\\_0009.html](https://www.hibiyakadan.com/item/LIFESTYLE_M_0009.html)

今年の母の日は花言葉に合った色のカーネーションを贈ってみてはいかがでしょうか。

## 🌸 人気の色 🌸

日本で人気がある色は赤色、ピンク色、複色(白地にピンク色の筋など)で、ギフト用やホームユース用にはピンク系の人気が高く、仏花用としては赤色や白色の人気が高いとのことです。また、自然色にはない青色、水色系のカーネーションも、遺伝子組み換えで近年出現しています。加えて、青色に染めたカーネーションも最近人気になっているとのことです。一方、東南アジアでは鮮やかな原色系の色の人気が高いとのことです。

### 🌸 産地による色や形の違い 🌸

カーネーションは赤道直下で紫外線が強い産地では花の色が鮮やかになり、紫外線があまり強くない産地ではどんよりとした色になるようです。また、カーネーションは太陽に向かって伸びるため、赤道直下ではまっすぐ、日本では斜めに伸びますが、切花の状態では市場に出回るため、店頭ではその違いは分からないようです。

### 🌸 カーネーションを長持ちさせるコツ 🌸

せっかくカーネーションの花束をもらってもすぐに枯れてしまったという経験をお持ちの方もいるのではないのでしょうか。カーネーションの花束を長持ちさせるコツとして、カーネーションの保存に適した環境(直射日光や冷房風が直接当たらない環境)を整えることが大切とのことです。そうした環境下で、きちんとケアをすれば2週間程度持つとのこと。

### 🌸 父の日に贈る花 🌸

母の日に贈る花としてはカーネーションが有名ですが、父の日に贈る花としては黄色のバラがあるようです。ただ、母の日に比べ、父の日に贈る花の売り上げはその1/10程度との話も・・・  
今年は母の日だけではなく、父の日にも花を贈ってみてはいかがでしょうか。

## 【終わりに】

日本切花輸出入協会によると、国内では生産コストが高くなりがちになること等により、国産のカーネーションの生産量が年々減少しており、その分輸入にシフトしているとのこと。カーネーションは母の日の贈り物としては根強い人気があり、また、仏花としての需要もあることから、今後も継続して輸入があるものと思われます。

## 【資料編】

## 【年別輸入推移】

年	全国数量 (KG)	東京税関 数量 (KG)	全国比 (%)	全国金額 (千円)	東京税関 金額 (千円)	全国比 (%)
2007	6,170,126	3,928,805	63.7	5,595,876	4,194,421	75.0
2008	6,298,675	3,978,637	63.2	5,577,675	4,044,192	72.5
2009	6,945,826	4,433,757	63.8	5,626,633	3,966,936	70.5
2010	7,966,048	5,092,247	63.9	6,786,685	4,700,313	69.3
2011	7,975,535	5,139,546	64.4	6,552,365	4,560,710	69.6
2012	9,592,434	6,235,036	65.0	7,943,755	5,577,813	70.2
2013	9,075,827	5,687,842	62.7	9,025,738	6,126,752	67.9
2014	9,144,702	5,693,991	62.3	9,635,018	6,405,298	66.5
2015	9,622,300	5,848,627	60.8	10,881,476	7,095,660	65.2
2016	10,060,080	5,657,764	56.2	10,105,451	6,131,905	60.7
2017	10,250,620	5,915,319	57.7	10,617,815	6,632,320	62.5
2018	10,355,819	5,962,976	57.6	10,606,290	6,667,183	62.9
2019	10,188,871	5,641,624	55.4	9,992,509	6,076,459	60.8
2020	10,173,546	5,852,079	57.5	9,652,965	6,123,156	63.4
2021	10,583,588	6,162,921	58.2	10,783,182	6,803,507	63.1
2022	11,138,657	6,082,976	54.6	13,587,863	8,471,543	62.3
2023	11,064,101	5,540,681	50.1	13,745,104	7,856,792	57.2
2024	11,026,642	5,760,348	52.2	14,267,782	8,447,560	59.2
2025	11,325,534	5,904,956	52.1	14,307,236	8,455,548	59.1

## 【税関別実績(2025年)】

税関	数量 (KG)	全国比 (%)	金額 (千円)	全国比 (%)
東京	5,904,956	52.1	8,455,548	59.1
大阪	3,218,909	28.4	3,454,709	24.1
横浜	1,856,616	16.4	1,893,533	13.2
門司	310,122	2.7	446,589	3.1
函館	30,542	0.3	53,960	0.4
神戸	4,389	0.0	2,897	0.0
合計	11,325,534	100.0	14,307,236	100.0



## 【資料編】

## 【月別輸入推移】

年	月	全国数量 (KG)	東京税関 数量 (KG)	全国比 (%)	全国金額 (千円)	東京税関 金額 (千円)	全国比 (%)
2021	1	570,690	313,292	54.9	534,887	319,560	59.7
	2	502,496	284,313	56.6	469,097	288,969	61.6
	3	1,197,546	650,929	54.4	1,147,639	672,737	58.6
	4	1,097,199	659,137	60.1	1,200,832	785,385	65.4
	5	605,904	375,961	62.0	605,497	402,812	66.5
	6	565,166	339,257	60.0	565,470	356,918	63.1
	7	1,043,562	644,057	61.7	1,070,412	693,949	64.8
	8	1,045,021	589,309	56.4	1,084,227	671,224	61.9
	9	1,213,179	698,079	57.5	1,228,802	759,274	61.8
	10	775,602	444,894	57.4	778,859	484,825	62.2
	11	787,377	462,915	58.8	799,817	509,914	63.8
	12	1,179,846	700,778	59.4	1,297,643	857,940	66.1
2022	1	688,067	419,034	60.9	692,013	469,736	67.9
	2	600,453	349,215	58.2	635,536	412,811	65.0
	3	1,148,269	683,887	59.6	1,300,016	876,946	67.5
	4	1,181,106	672,781	57.0	1,545,852	1,044,982	67.6
	5	629,007	398,734	63.4	812,542	580,990	71.5
	6	717,258	367,607	51.3	810,010	481,600	59.5
	7	1,047,786	569,377	54.3	1,326,206	826,846	62.3
	8	1,159,610	584,662	50.4	1,366,593	799,241	58.5
	9	1,308,877	684,491	52.3	1,652,623	991,598	60.0
	10	837,330	404,131	48.3	1,080,681	584,562	54.1
	11	826,179	398,167	48.2	1,061,111	579,775	54.6
	12	994,715	550,890	55.4	1,304,680	822,456	63.0
2023	1	627,969	319,614	50.9	736,940	425,084	57.7
	2	744,254	346,874	46.6	849,061	446,752	52.6
	3	1,166,948	652,841	55.9	1,447,251	929,249	64.2
	4	1,007,635	574,973	57.1	1,305,674	844,046	64.6
	5	796,794	414,701	52.0	1,000,427	599,456	59.9
	6	636,081	302,809	47.6	767,340	415,700	54.2
	7	1,041,481	516,456	49.6	1,287,577	725,771	56.4
	8	1,045,832	495,259	47.4	1,252,273	676,164	54.0
	9	1,185,269	576,848	48.7	1,501,610	841,104	56.0
	10	956,430	431,860	45.2	1,196,068	610,527	51.0
	11	758,362	364,387	48.0	967,578	519,804	53.7
	12	1,097,046	544,059	49.6	1,433,305	823,135	57.4

年	月	全国数量 (KG)	東京税関 数量 (KG)	全国比 (%)	全国金額 (千円)	東京税関 金額 (千円)	全国比 (%)
2024	1	628,535	350,144	55.7	798,393	490,303	61.4
	2	645,128	295,986	45.9	824,683	431,017	52.3
	3	1,189,156	600,006	50.5	1,490,243	881,115	59.1
	4	1,053,829	569,201	54.0	1,466,167	921,919	62.9
	5	697,510	357,923	51.3	952,900	556,291	58.4
	6	624,998	302,636	48.4	804,681	442,241	55.0
	7	1,000,475	543,127	54.3	1,329,206	816,219	61.4
	8	1,015,441	558,388	55.0	1,273,555	792,119	62.2
	9	1,302,761	704,308	54.1	1,624,484	977,970	60.2
	10	855,766	428,632	50.1	1,074,417	598,584	55.7
	11	791,150	420,934	53.2	1,010,694	592,653	58.6
	12	1,221,893	629,063	51.5	1,618,359	947,129	58.5
2025	1	743,819	434,179	58.4	1,008,359	637,014	63.2
	2	798,281	415,206	52.0	1,036,969	606,456	58.5
	3	1,245,211	676,608	54.3	1,535,328	940,872	61.3
	4	1,091,221	562,175	51.5	1,467,862	878,930	59.9
	5	584,446	321,225	55.0	750,868	465,128	61.9
	6	672,357	311,624	46.3	788,706	422,120	53.5
	7	1,127,828	556,980	49.4	1,327,074	745,422	56.2
	8	1,076,198	554,676	51.5	1,315,556	776,115	59.0
	9	1,185,537	678,014	57.2	1,451,782	928,374	63.9
	10	908,993	403,336	44.4	1,134,577	576,732	50.8
	11	824,999	417,176	50.6	1,031,142	586,818	56.9
	12	1,066,644	573,757	53.8	1,459,013	891,567	61.1



## 【資料編】

## 【国別輸入動向(2025年、全国)】

国 (地域)	数量 (KG)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
コロンビア	6,530,001	57.7	10,035,230	70.1
中国	3,755,408	33.2	3,038,731	21.2
エクアドル	929,807	8.2	1,122,275	7.8
ベトナム	94,947	0.8	87,925	0.6
ケニア	14,570	0.1	21,751	0.2
トルコ	801	0.0	1,324	0.0
合計	11,325,534	100.0	14,307,236	100.0

## 【国別輸入動向(2025年、東京税関)】

国 (地域)	数量 (KG)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
コロンビア	3,881,716	65.7	6,505,420	76.9
中国	1,801,771	30.5	1,626,895	19.2
エクアドル	129,437	2.2	237,735	2.8
ベトナム	91,041	1.5	83,764	1.0
トルコ	801	0.0	1,324	0.0
ケニア	190	0.0	410	0.0
合計	5,904,956	100.0	8,455,548	100.0

## 【港別輸入動向(2025年)】

港	数量 (KG)	全国比 (%)
成田空港	3,337,049	29.5
横浜港	1,856,616	16.4
東京港	1,734,339	15.3
大阪港	1,542,883	13.6
関西空港	1,296,669	11.4
羽田空港	833,568	7.4
堺港	379,357	3.3
福岡空港	306,979	2.7
千歳空港	30,542	0.3
神戸港	4,389	0.0
博多港	3,143	0.0
合計	11,325,534	100.0

港	金額 (千円)	全国比 (%)
成田空港	5,654,388	39.5
関西空港	2,066,898	14.4
横浜港	1,893,533	13.2
東京港	1,598,414	11.2
羽田空港	1,202,746	8.4
大阪港	1,110,853	7.8
福岡空港	444,050	3.1
堺港	276,958	1.9
千歳空港	53,960	0.4
神戸港	2,897	0.0
博多港	2,539	0.0
合計	14,307,236	100.0

【出典】 財務省貿易統計。

本資料の貿易統計の数値は、2024年以前は確定値、2025年は確々報値。

成田空港の数値は、成田空港と東京航空貨物出張所を合計したもの。

【取材協力】 日本切花輸出入協会

本資料を引用する場合、東京税関の資料による旨を注記して下さい。

貿易統計の数値はインターネットでも検索できます。

本資料に関するお問合せは以下へお願いします。  
東京税関 調査部 調査統計課 TEL:050-5533-6995

財務省貿易統計

検索

東京税関

〒144-8616 東京都大田区羽田空港2-6-3 貨物合同庁舎  
<https://www.customs.go.jp/tokyo/>